



# 新学校給食を民間化発表

## 学校給食の理想から逸脱し、失望招く

鶴岡市は議員説明会を14日開き、新学校給食センターの整備について、事業手法をこれまでの市直営から、「民間化」に切り替えることを発表しました。

鶴岡市は議員説明会でも効果的な手法と考えられるDBM方式（設計・建設・維持管理一括発注方式）により施設を計画的に整備するとしています。運営業務など官民の役割分担について、「鶴岡らしい給食の提供のため、献立作成や食材購入、食育指導等は市が責任を持って行い、効率的な運用が望ましい調理・配送・維持管理等は民間に委託炊飯については、ただちに新たに整備するのではなく、引き続き山



公設直営で進められてきた市学校給食センター

食センターの計画策定を受託している（株）佐藤総合計画（東京都墨田区）に、1026万3千円で委託を決定。調査の中間報告を令和6年12月27日に公表し、導入可能性のアンケート調査で、PFI方式やDBM方式等いずれの方式でも「参画できる」と回答した業者が、10社以上あったとしています。

DBM方式により整備

市は、事業手法について、

「PFI導入可能性調査の結果等から総合的に判断し、財政削減効果のみならず鶴岡らしい給食の実現にあたり

は市が責任を持って行い、効率的な運用が望ましい調理・配送・維持管理等は民間に委託炊飯については、ただちに新たに整備するのではなく、引き続き山

市は、同センターPFI導入可能性調査について、公募型プロポーザルを行い、令和6年7月17日、東根市や長井市、米沢市でも給

## 2025年度県予算案、内示される



▽17日、2025年度県当初予算案が県議会に内示され

ました。一般会計の総額は6754億1900万円、昨年比256億3600万円増になりました。県政運営の柱として、「人口減少対策」、「産業の稼ぐ力の向上」、「リスクへの対応強化による安全・安心の確保」を示しました。

私と党県議団の質問の反映が見られる事業を一部挙げると、

○保育料の段階的負担軽減を新たに、年収470～640万円未満の世帯に拡げる。

○シニア世代求職者と、人手不足企業の効果的なマッチング。

○医師・看護師修学資金の貸与定員拡充や、勤務環境改善支援等は貸与を受ける学生が増えました。

○就労継続支援B型事業所の工賃向上に向けた総合的な支援。

○フリースクール等の利用料支援は、実現したことは意義がありますが、住民税非課税世帯などに限定され、「毎月の利用料の半額、または月1万5000円のいずれか低い額」に止まっています。

○令和6年7月大雨災害からの復旧・復興。

○河川整備や流下能力向上等による治水対策。

○多文化共生社会の推進。

●山形新幹線新トンネル（仮称米沢トンネル）整備基金積立金5億円と、鉄道の沿線活性化や利用拡大に向けたプロジェクト。1500億円の費用に効果があるのか、明らかにする必要があります。

▽予算案を始めとする新年度事業を、3月19日の閉会日まで審査していきます。（県議 関 徹）

民間の利益で、人件費や食費にしわ寄せ

学校給食センターの民間化について、長谷川剛議員が令和5年12月議会でも取り上げ、

「民間企業が利益を出す方法は、人件費や食材費を減らすことであり、そのしわ寄せは子どもたちになる」、「教育の一環である給食が、単なる昼食サービスに代わる恐れ」、

「調理業務を献立作成業務と切り離して民間事業者に委ねることは、学校給食法の趣旨から外れる」

「学校給食の安定的供給や、安全性、質の確保を図ることができない状況を招くおそれがある」と指摘して

「学校給食の在り方を、地域密着型の自校方式への転換に見直す必要がある」と求めてきました。

市当局のいう「鶴岡らしい給食」の意味は不明ですが、栄養士は必ず、大学の授業で「学校給食発祥の地・鶴岡」を学びます。

「鶴岡らしい給食」とは、発祥の地として、学校給食の理想を追求してこそです。

民間化では理想から逸脱し、失望を招くのは必至です。

市は、パブリックコメントを経て、3月に「新学校給食センター整備基本計画」を策定・公表するとしており、パブコメに多くの声をあげていく必要があります。



# 8月からキッズドーム ソライ利用料軽減図る

## 市こどもの遊び場に関する協議会

第3回鶴岡市こどもの遊び場に関する協議会（阿部真一委員長）が6日開催されました。

基本的な考え方として、

- 1、こどもの創造性や主体性を向上させる遊びの環境整備
- 2、こどもにとっても大人にとっても魅力的で多様な遊び場の整備
- 3、鶴岡の地域資源を活かした遊び場の整備、を掲げていきます。

遊びを推進する取り組みとして、

- 1、遊びの価値を伝える人材の育成
- 2、遊びや遊び場を

支える地域づくりの推進

3、遊び場の整備の進め方、を掲げています。

こどもの遊び場に関する協議会、及び親子

モニター事業アンケート結果を踏まえ、令和7年8月から、キッズドームソライ利用料軽減を図るとし、0〜小学生は無料、中・高校生は500円、付き添いの保護者1人無料とすることが検討されています。

公園遊具の整備については、令和7年度の整備箇所として、鶴岡西部公園（すべり台、木製遊具）、北田公園

# 1月から市の補聴器 購入補助金始まる

## 生健会が市に要望書提出

鶴岡生活と健康を守る会（会長・菅井厳市議）は13日、生活保護制度と地域福祉、市営住宅等の課題について、市に13項目の要望書を提出しました。

生活保護利用者から繰り返し求められてきた「自動車保有」について、12月に届いた国からの通知を受け、仕事や通院に限定してきた保有・利用の範囲が、4月からは買い物などの日常生活利用にも認められることが、市から示されました。また、障害者手帳の交付を受けられない、

軽中程度の加齢性難聴の補聴器購入助成については、1月から「つるおか聴こえサポート事業補聴器購入費補助金」を始めていることが報告されました。

地域包括支援センターなどでの「聴こえの相談会・研修」を通じて、7人が相談につながり、うち3人から補助申請への意向がある旨が述べられました。

市営住宅入居者への連帯保証人については、「連帯保証人の対応が困難」との意向が示された時には、保証会社への移行を促して

（フランク）、道形公園（すべり台）を検討しています。

委員から、「キッズドームソライへ、団地で利用した際には軽減の対象となるのか」

「付き添いの1名とは、何歳までのこどもが対象か」等の質問が出されました。

当局は、「詳細についての検討はこれからとなる」との回答がありました。

菅井厳・坂本昌栄議員が傍聴しました。

# 庄内広域行政組合議会が福 島・仙台の卸売市場を視察

庄内広域行政組合議会の行政視察が6、7

おり、今年度も12人が対応し、年ごとに増えている状況が報告されました。

参加者からは、高齢者一人暮らしの実態把握と「聴こえ」などの課題解決へ、支援と制度の見直しや改善、市民への周知について、意見が出されました。

党市議団も補助を提起

この間、日本共産党市議団が議会でも求めたきた補聴器購入補助金が一歩前進しました。「つるおか聴こえサポート事業」の周知と利用への働きかけを促すと共に、「利用しやすい制度」とするために、補助対象者の要件や補助金額などについて、改善を求めてゆく必要があります。

「遊びに本気宣言！鶴岡市こどもの遊び場整備方針」について、3月5日まで意見が公募されています。

2月13日に、「鶴岡市こどもの成長を支える屋内遊び場の環境の推進に関する協定」が、鶴岡市と、（株）SONAI、PTA連合会、市立幼稚園・認定こども園、公立保育園の保護者会、アインシュタインの会、明日のとびら、とまり木をつくる会の8社協定を締結しました。

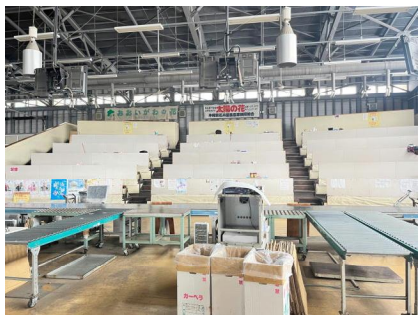
また、鮮魚も扱っています。また、原発事故の影響で「常磐もの」と言われるメヒカリやヒラメ、カツオなどの取引が落ち込んでいます。

仙台市場は、水産、花き、青果物、食肉が取り扱われており、その規模も広大です。

1日に5千人以上が入り出す時もあります。

市場関係者向けの保育所、歯科、食堂など、福利厚生施設も充実しています。

人口減少や産直、ネットによる取引が進む中で、取扱量は減少しており、新たな市場の適正規模や運営手法などについて、様々な模索がありました。



福島市場の花弁競り場

### 建築課入札結果（ ）内は予定価格

2月13日入札分  
・市朝日庁舎・消防署朝日分署付帯外構電気通信設備工事（下名川字落合1番地ほか）（入札10業者うち8業者辞退）  
（株）渡会電気土木 2,000,000円（2,280,000円）  
工期～5/30（落札率87.72%）

### 土木課入札結果（ ）内は予定価格

2月13日入札分  
・堂ノ前線道路改良工事（債務負担行為）（越沢地内）（入札1業者）  
（株）アツケン 11,600,000円（11,680,000円）  
工期～8/29（落札率99.32%）

### 水道課入札結果（ ）内は予定価格

2月12日入札分  
・鼠ヶ関配水池流量計移設工事（鼠ヶ関地内）（入札8業者うち1業者辞退）  
青山工管（株） 37,200,000円（37,980,000円）  
工期～8/29（落札率97.95%）